

行政報告

(令和6年第7回定例会【12月】提出)

安芸太田町

1 合併 20 周年記念事業について【総務課】

今年 20 周年を迎えるにあたり、9 月 28 日に「合併 20 周年記念式典」を挙行了しました。式典では、安芸太田町合同神楽団による神楽上演から始まり、国土交通大臣をはじめ、多くのご来賓にご祝辞をいただいたほか、町内小中学校の子ども達から校歌斉唱によるビデオメッセージもいただきました。

また、記念表彰では「企業版ふるさと納税」による支援をいただいた企業様や各分野で支援をいただいた団体様に対して感謝状を贈呈させていただきました。

200 人以上の方にご臨席いただき、盛会裡に式典を終えることができました。

なお、20 周年を記念する事業として、翌 29 日には安芸太田町神楽協議会主催の「合併 20 周年記念神楽公演」を開催いただいたほか、(本日) 12 月 6 日にはNHKによるラジオ公開収録を実施いただく予定です。

2 災害時の備えについて【総務課危機管理室】

災害時に孤立する可能性のある地域への物資輸送手段の確保に向けて、11 月 22 日に新たに 2 社目の企業と物資輸送協定を締結しました。併せて、戸河内ふれあいセンターを出発点、水辺の楽校を孤立地域と想定して 2 社のドローンによる物資輸送のデモフライトを実施しました。

また、地震発生時の職員の対応を検証するため、広島県のご支援を受けて 10 月 20 日、本庁本館で直下型地震が発生した想定での対応訓練を実施しました。発災直後に初動対応が必要な総務課と住民課の職員を対象とし、負傷者対応、庁舎の被災確認等を行い、改善点等を検証しました。

引き続き、計画的な訓練を進めて災害時の対応能力の向上を図ってまいります。

3 m o r i c a(もりか)プレミアムポイントキャンペーンについて【企画課・産業観光課】

11 月 6 日から買い物額の 10%相当額を、一人 5,000 ポイントまで還元する m o r i c a(もりか)プレミアムポイントキャンペーンを実施しています。

11 月末までに、約 257 万ポイントが還元され、総額約 2,780 万円が町内で消費されています。ポイント付与期間は 12 月 25 日までとしており、引き続き利用促進を図ります。

4 租税教育の推進について【税務課】

毎年 11 月 11 日から 17 日は「税を考える週間」です。今年も「これからの社会に向かって」をテーマに広報活動を行いました。

租税教室では、子どもたちが税金の必要性や社会への貢献について主体的に考えられるような学びの場を提供し、将来的な収納率の向上につなげていきます。

また、広島北法人会主催の小学生向け「税に関する絵はがきコンクール」や、全国納税貯蓄組合連合会と国税庁主催の「中学生の税についての作文及び書写」において、町内の児童生徒 7 人の作品が見事入賞を果たしました。

5 人権啓発セミナーの開催について【住民課】

今年度の人権啓発セミナーは、10 月に外国人や高齢者などに配慮した「やさしい日本語」について、11 月に我が国固有の人権問題である「同和問題」をテーマに開催し、そ

それぞれのテーマを通して一人ひとりの人権が尊重されることの大切さについて理解を深めました。

今年度は、業務の都合等で参加が難しい職員について、z o o mやY o u T u b eでも受講ができるよう工夫したことで、職員の参加人数の増加に繋がりました。

6 森林整備及び流域治水の出前講座について【産業観光課】

10月31日に、森林整備や流域治水の大切さを伝えるために、町内小学5年生を対象に山林での間伐体験を実施しました。

今年度は太田川河川事務所も参加いただき、作業後に森林環境を整備することで河川の氾濫を防げることや、身近でできる流域治水について学習することができました。

7 道の駅再整備事業について【産業観光課】

9月20日に道の駅再整備事業を担う特別目的会社（S P C）である「株式会社ゲートステーションあきおおた」と事業契約を締結し、P F I事業を開始しました。

現在、設計に必要な測量等の土地調査や、新たな道の駅でも出店を希望する既存事業者のヒアリング結果を踏まえ、建設期間中の仮設店舗の設置を含めた整備工程や、施設設計についてS P Cと協議を行っているところです。

8 秋の観光イベント等について【産業観光課】

秋のイベントである「2024 龍姫湖まつり in 温井ダム」は、昨年度並みの3,200人が来場されました。企画段階から加計高校生が参画し、地域の方と一緒に満足度向上を図る取組ができました。また、「五サー市」では吉水園の開園も併せて2日間で約5,600人、「つつがふるさとまつり」では1,500人、戸河内で行われた「連合神楽共演大会」では800人の来場がありました。

9 Fun Ride ひろしま in やまがたサイクルランド 2024 の開催について【産業観光課】

11月24日に北広島町とサイクルイベントを合同開催いたしました。102k mのロングコース、48k mのショートコースを設け、115名の方にご参加いただき、紅葉が広がるやまがたエリアの走行を堪能いただきました。

当日はアテネオリンピック出場者の唐見実世子様をゲストに、また湯崎広島県知事にも走行いただき、各エイドステーションで猪汁等、両町の特色ある食事をお楽しみいただきました。

不肖私も初めてライダーとしてイベントに参加し、改めてやまがたエリアの魅力を堪能したところであり、これからも多くの皆様に山県地区でのサイクルツーリズムを楽しんでいただけるよう、力を入れていきたいと考えているところです。

10 加計スマートインターのフルインター化について【建設課】

9月26日に、N E X C O西日本と共同で実施する詳細設計業務を契約し、高速道路本線及びアクセス道となる町道の設計を進めています。

11月上旬に埋蔵文化財の試掘調査を実施したところ、遺跡等は確認されませんでした。引き続き、用地取得に向けたN E X C O西日本と情報共有や課題確認のための協議を

毎月実施し、円滑な事業推進を図っています。

11 太田川総合開発事業（新規ダム）について【建設課】

国土交通省太田川河川事務所において引き続き現地調査を実施中であり、ボーリング調査は今年度予定していた 11 本中 6 本が完了し、河川内作業となる残る 5 本も今年度中に完了予定です。

また、太田川河川事務所におかれては、今年夏から 2 回、主に職員向けの勉強会も開催いただいているところであり、町としても、引き続き国の調査・検討や地元調整について協力を行うとともに、ダム建設中及び完成後の地域振興について協議を行ってまいります。

12 安芸太田町価格高騰重点支援給付金の支給について【健康福祉課】

「デフレ完全脱却のための総合経済対策」（令和 5 年 11 月 2 日閣議決定）において示されました、物価高騰対策として低所得世帯（住民税非課税）を支援するため 1 世帯あたり 7 万円の給付金を支給する事業について、本年 9 月末日で利用期間が終了しました。支給実績並びに利用状況は、以下のとおりです。

区 分	内 容
給 付 額	1 世帯あたり 70,000 円 ※ 町地域通貨「morica」へポイント付与
給付世帯	1,014 世帯
給付合計額（実績）	70,980,000 円
利用実績	68,460,751 円（利用率：96.45%）
利用期間	令和 6 年 1 月 7 日～令和 6 年 9 月 30 日

13 安芸太田町令和 5 年度住民税均等割のみ課税世帯物価高騰対策支援給付金及び子育て世帯支援給付金（子ども加算）の支給について【健康福祉課】

物価高に伴う影響を被る低所得世帯の方々への支援として、令和 5 年 12 月 1 日を基準日として、令和 5 年度分の住民税均等割のみ課税世帯に対して、1 世帯あたり 10 万円を、また、これまで給付した非課税世帯（3 万円及び 7 万円）の 18 歳以下（平成 17 年 4 月 2 日生まれ以降）の児童がいる世帯にも、新たに児童 1 人あたり 5 万円を追加給付し、利用期間が終了しました。支給実績並びに利用状況は、以下のとおりです。

区 分	内 容
給 付 額	1 世帯あたり 100,000 円（子ども加算 50,000 円） ※ 町地域通貨「morica」へポイント付与
給付世帯	・均等割課税世帯 205 世帯 ・子ども加算 42 世帯（72 人）
給付合計額（実績）	24,100,000 円 （均等割課税世帯 20,500,000 円） （子ども加算 3,600,000 円）
利用実績	23,684,314 ポイント（利用率 98.28%）

利用期間	令和6年4月30日～令和6年9月30日
------	---------------------

14 「黒い雨」体験者への被爆者健康手帳交付について【健康福祉課】

令和4年4月から運用が開始された「黒い雨」にかかる手帳交付制度について、申請状況等を報告します。11月末日現在での状況は、以下のとおりです。

申請種類	申請件数	交付件数	却下件数
被爆者健康手帳の交付	632 件	592 件	27 件
健康管理手当の認定	724 件	556 件	147 件

※ 本町の被爆者健康手帳所持者数：709 名

今後もこれまで同様、厚生労働省や広島県とも連携して、町民広報等を活用して「黒い雨」にかかる制度周知や適正な事務に努めていきます。

15 新型コロナウイルスに対する定期予防接種について【健康福祉課】

本年10月より新型コロナウイルスに対する定期予防接種が開始されています。

今回から接種費用が15,300円となりますが、町内に住所を有する65歳以上の方、及び60歳以上65歳未満で身体に重篤な障がいがある身体障害者手帳1級相当の方については、公費助成により2,000円の自己負担で定期予防接種を受けることができます。

町では9月末に対象者全員へ接種勧奨ハガキを送付するとともに、広報安芸太田や町公式サイトでも制度を周知しました。

11月末現在、町内医療機関では、公費助成の対象となる561人が定期予防接種を受けています。

現在も町内で新型コロナウイルスの感染が続いており、重症化しやすい高齢者に対しては、今後もワクチン接種を推奨していきます。

なお、次年度以降の新型コロナワクチン予防接種について、現時点では国の方針が未定であるため、今後とも動向をしっかりと注視していきます。

16 第18回安芸太田ウォーキング大会（もみじウォーク）について【健康福祉課】

10月13日（日）に「第18回安芸太田ウォーキング大会」（もみじウォーク）を開催しました。

当日は天候にも恵まれ、昨年約1.9倍にあたる総勢672人の方に参加していただきました。同時に開催した山の日イベントを含め、参加された方は1日を通して安芸太田町の自然を満喫されたことと思います。

一方で、前回の反省を踏まえ、開催案内を前倒しで行い、積極的に情報発信を行ったことにより、参加人数は昨年より増加しましたが、町民の参加者は98人と例年並みであり、「町民の健康寿命の延伸」という大会の趣旨から考えると、少し物足りない結果と捉えています。

来年度の開催に向けては、町民の方々にもっと興味・関心を持っていただき、参加したいと思っていただけるよう、情報発信の工夫や日々の健康づくり事業にも取り組んでいきます。

17 子育て講演会の開催について【教育課】

10月26日、川・森・文化・交流センターにおいて子育て講演会を開催しました。

講演には、「安芸太田町らしい教育のあり方懇話会」の委員を務めていただきました、長野県野外保育連盟理事長 内田幸一（うちだ こういち）さんを講師にお迎えし、「野外保育・自然保育の魅力と子どもの育ち」と題して講演をいただきました。

講演前には別途保育士を対象とした自然保育に関する研修会も併せて開催したところであり、本町の恵まれた自然や文化などを活用した「安芸太田町らしい学び」が実践に結びつくよう研修等を行っていきます。

18 保育所・認定こども園・学校教育活動について【教育課】

保育所・こども園・学校では、運動会、発表会、文化祭等を実施し、子どもたちの一生懸命な姿や成長した姿を見ていただきました。

中学校では、部活動の地区大会や駅伝大会、合唱コンクール、英語暗唱・弁論大会に出場し、練習の成果を発揮しました。この結果、複数の生徒が入賞し、その内1人が県大会へ進んでいます。

10月19日、小学校5年生から中学校3年生までを対象とした「科学アカデミー」を開催しました。今年は夏と秋の計2回実施し、延べ44人の児童生徒が参加し、「マジックハンドづくり」「トラス橋づくり」「リニアモーターカーづくり」を行いました。

また、10月28日には第2回保小合同研修会を行いました。町内の保育園所、小学校の先生方が集まり、加計小学校1年生と認定こども園あさひ・修道保育所の年長児11人による交流授業「折り紙を飛ばそう」を参観しました。年長児と児童が交流し、遊びの中で、試行錯誤しながら学んでいました。

本年度第2回の学校運営協議会を町内小中学校全5校で開催し、児童・生徒の成長の様子を委員に見ていただくとともに、学校と地域の協力体制の在り方等について協議しました。

19 令和7年度全国高等学校総合体育大会登山競技プレ大会の開催について【教育課】

来年度に予定している全国高等学校総合体育大会（インターハイ）登山競技大会のプレ大会として、10月25日から27日までの3日間、第64回中国高等学校登山大会が恐羅漢山、深入山一帯で開催されました。

中国地方の各県から予選を勝ち抜いた男子20チーム、女子12チームの選手125人が日ごろの成果を発揮するとともに、インターハイで使用する登山道や施設等も併せて確認をされました。

20 第12回安芸太田町民グラウンド・ゴルフ大会の開催について【教育課】

9月22日、第12回安芸太田町民グラウンド・ゴルフ大会を深入山グラウンド・ゴルフ場において開催しました。幅広い世代から59人が参加され、霧雨も降る中、たくさんの笑顔がみられるなど、親睦や交流が深まる大会となりました。

21 第9回安芸太田町文化・芸能フェスティバルの開催について【教育課】

10月19日及び20日の2日間において、安芸太田町文化団体連合会主催の第9回安芸太田町文化・芸能フェスティバルが戸河内ふれあいセンターで開催されました。

文芸展示では、町内小中学校も参加して、押し花、絵画、書道、俳句など多くの作品が出展され、芸能発表では、メイプルホールに響き渡る歌声や迫力のある演舞が披露され、多くの方の来場がありました。

22 安野郵便局での行政サービスとオンライン診療・服薬指導の実証事業について

【加計支所・病院事業】

安野郵便局で10月1日から1月15日までの間、総務省による「郵便局等の公的地域基盤連携推進事業」として実証事業が始まりました。郵便局の「コミュニティ・ハブ」としての活用を通じた地域の持続可能性確保をテーマに、行政サービスやオンライン診療・服薬指導のほか、月2回程度の「スマホお悩み相談所」を開設し、オンラインでスマホの個別相談に応じる試みも始まりました。

11月の状況は、郵便局事務取扱法に定める行政事務15件、その他の行政事務2件、受託窓口事務15件、合計32件となり、10月からの実施開始同様、去年のこの時期の出張所事務取扱件数平均とほぼ変わらない状況でした。

また、オンライン診療及び服薬指導の状況は、実証期間中12件の予約のうち、9件が実施済みです。郵便局の空きスペースにオンライン診療ブースを設置し、オンライン診療及びオンライン服薬指導を実施したところであり、引き続き、患者へのアンケート調査の分析結果をもとに、有効性、実用性、経済性の観点で、全国のへき地医療における活用の可能性について検証を行っていきます。

本事業の取組が、本町のみならず、過疎地域の課題解決策の一つの事業になればと期待しています。